

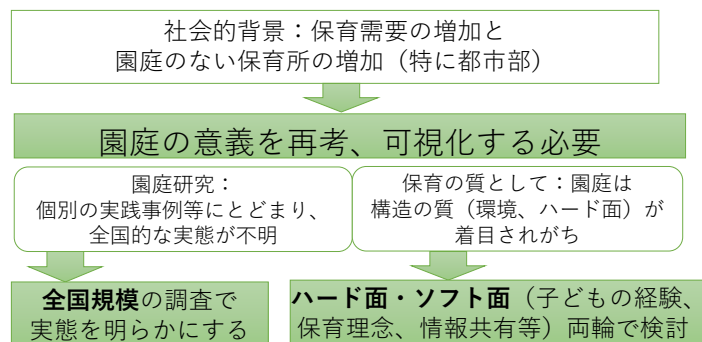
園庭大規模調査に基づく リーフレット作成と 今後の展望

秋田 喜代美（研究代表者/ 東京大学大学院）
辻谷 真知子（報告者/ 白梅学園大学・日本学術振興会特別研究員PD）
宮本 雄太（報告者/ 東京大学大学院・日本学術振興会特別研究員DC1）
石田 佳織（園庭研究所）
宮田 まり子（白梅学園大学）

報告の流れ

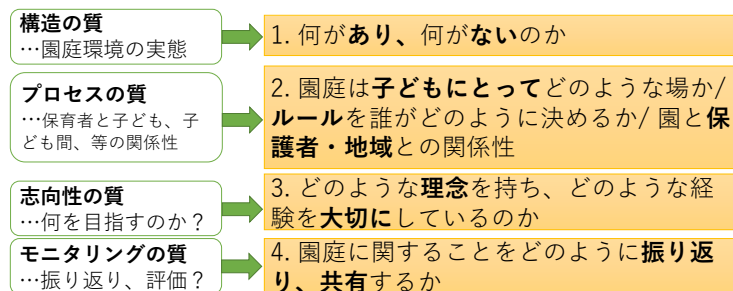
1. なぜ「園庭大規模調査」なのか：調査の背景と目的
2. 実態を明らかにするために：調査の概要と方法
3. 得られた実態：報告概要と分析方法
4. 分析に基づく「7つのステップ」：リーフレット作成経緯
5. リーフレットの反響：アンケート結果の紹介
6. より豊かな園庭を目指して：今後の展望

1. なぜ「園庭大規模調査」なのか



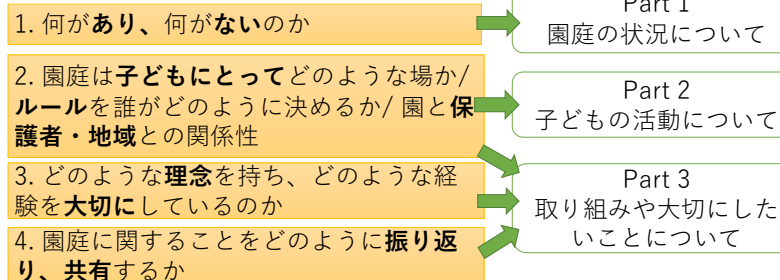
1. なぜ「園庭大規模調査」なのか

園庭の「質」について



1. なぜ「園庭大規模調査」なのか

質問紙の構成

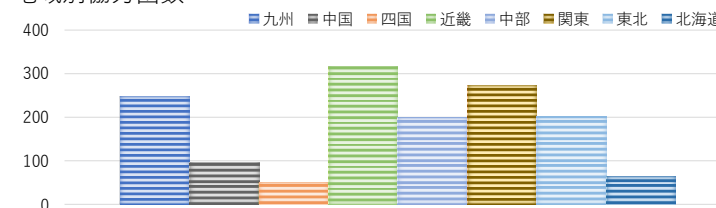


2. 実態を明らかにするために：調査の概要と方法

送付先選定方法と協力：全国の保育・幼児教育施設1,334施設（主に認定こども園）と東京都各種施設292施設（回収率 各49.6/51.0%）

実施時期：平成28年11月～平成29年1月

地域別協力園数：



2. 実態を明らかにするために：調査の概要と方法

質問紙の内容（全16ページ、前後にフェイスシート）

Part 1 園庭の状況について

物理的環境の有無（砂・土遊び場、水場、築山や斜面、植栽、休憩スペース 他）

Part 2 子どもの活動について

遊び場の機能（宮本他, 2016）に当てはまる環境

園庭での決まりごと（誰が決めるか）

遊具新設等の決定に関わる者

Part 3 取り組みや大切にしたいことについて

どのくらい実施し大切にしているか（5件法）

大切に思うこと（順位づけ）

情報共有（時間、関与者）

生物との関わり方環境整備

3. 得られた実態：報告概要と分析方法

1. 何があり、何がないのか

Part 1 の結果と 多様性指標の検討

- 有する施設が多い環境（砂遊び場、固定遊具、可動式水遊び場、樹木、静かな場所）、
- 園庭のある施設に多い環境（水道や井戸、花壇やプランター、土遊び場、菜園、道具や素材、摘んでも良い草花）、
- 有する施設が少ない環境（子どもが水遊びをする場、生き物が生息する水場、木登りのできる木や樹木を活用した遊び場）

が明らかに

「多様性指標」

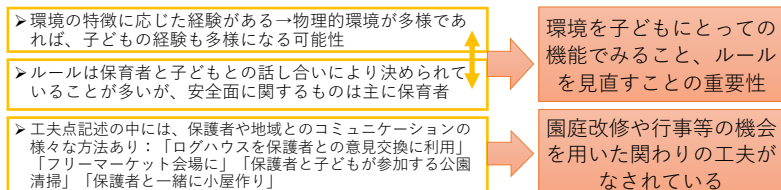
個別の物理的環境について尋ねた14項目について、質に応じて0/1/2、もしくは0/2で計算

	N	満点	Min	Max	M	SD
園庭あり	1658	58	9	54	32.6	8.5
園庭なし	83	48	7	42	23.8	8.8

3. 得られた実態：報告概要と分析方法

2. 園庭は子どもにとってどのような場か/ルールを誰がどのように決めるか/園と保護者・地域との関係性

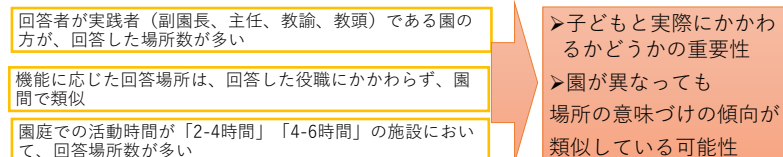
Part 2 園庭内で「遊び場の機能」に該当する場所を選択する項目/ルールの決め方について答える項目/自由記述項目



3. 得られた実態：報告概要と分析方法

2. 園庭は子どもにとってどのような場か（追加分析）

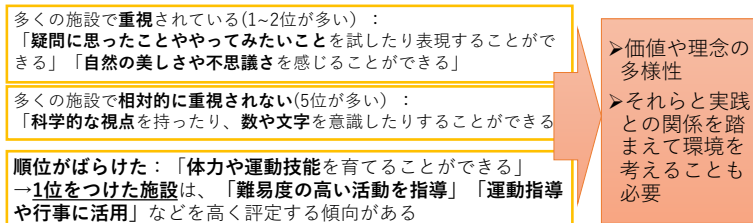
Part 2 園庭内で「遊び場の機能」に該当する場所を選択する項目と「回答者の役職」との関係（宮本他, 2018: こども環境学会）



3. 得られた実態：報告概要と分析方法

3. どのような理念を持ち、どのような経験を大切にしているのか

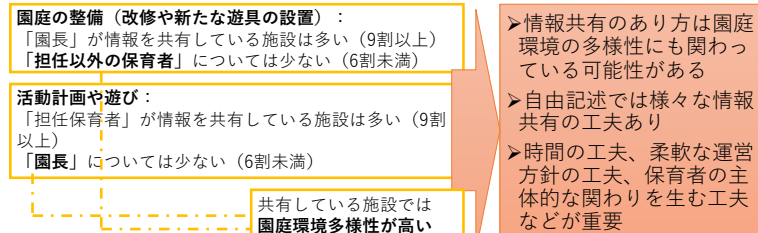
Part 3 「実施している」「大切に思う」+順位付け質問の回答と分析



3. 得られた実態：報告概要と分析方法

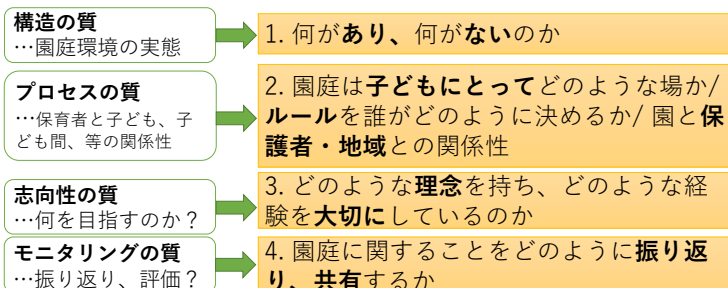
4. 園庭に関することをどのように振り返り、共有するか

Part 3 情報共有のあり方に関する項目の結果と分析



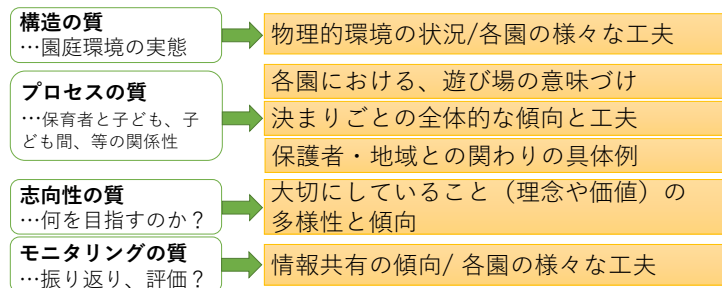
4.分析に基づく「7つのステップ」： リーフレット作成経緯

再び、園庭の「質」について



4.分析に基づく「7つのステップ」： リーフレット作成経緯

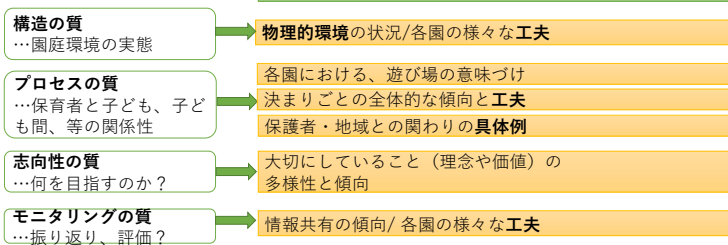
分析によって得られたもの



4.分析に基づく「7つのステップ」： リーフレット作成経緯

イメージしやすい部分（物理的環境）を最初にし、
子どもの視点→職員の取り組み→園外との関わり という構成に

➤ 実践の工夫、具体例を各所に盛り込む



4.分析に基づく「7つのステップ」： リーフレット作成経緯

最終的には以下の構成に。*どこからでも始められるという記述も入れる



5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

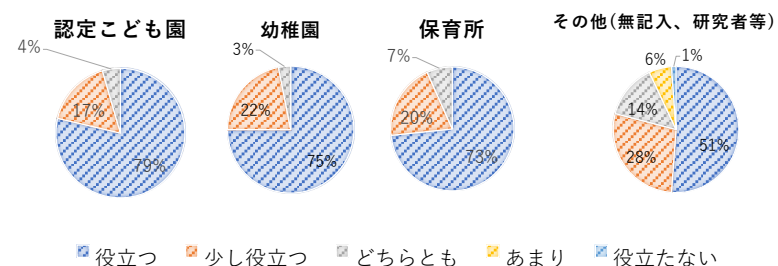
- 平成29年12月にリーフレット作成、平成30年1月完成・配布
- アンケート実施：平成30年1~2月
- 対象と方法：園庭調査協力園にリーフレットを送付した際に同封/シンポジウム等の機会にリーフレットを提供して回答を依頼
- リーフレットが役立つかどうか、具体的に役立つ部分、詳しく知りたいこと、研修について等の7質問からなる

回収数：328

内訳：認定こども園177/ 幼稚園32/ 保育所31/ その他（研究者等）88

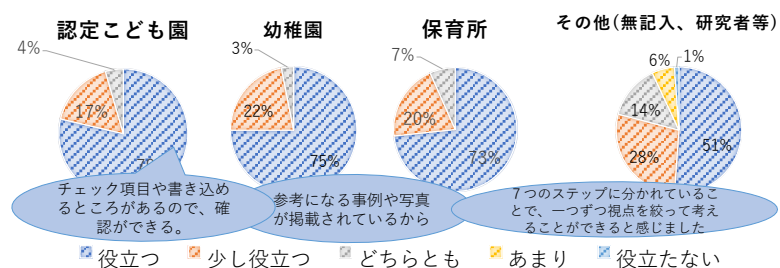
5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 全体として、どの程度役に立つと感じられますか？



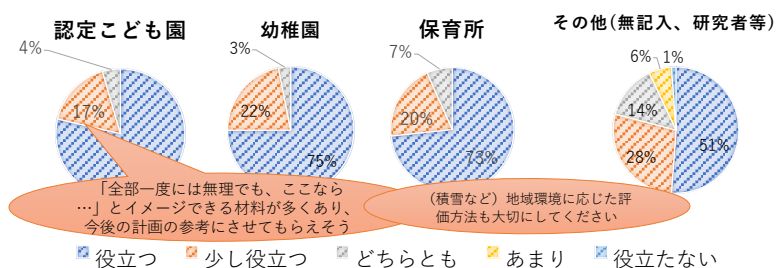
5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 全体として、どの程度役に立つと感じられますか？



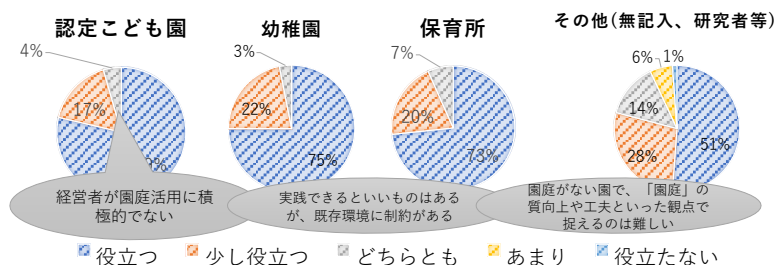
5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 全体として、どの程度役に立つと感じられますか？



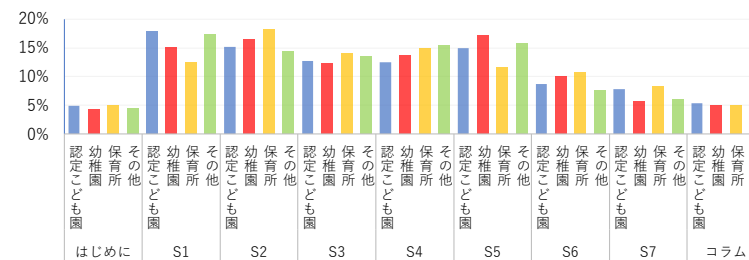
5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 全体として、どの程度役に立つと感じられますか？



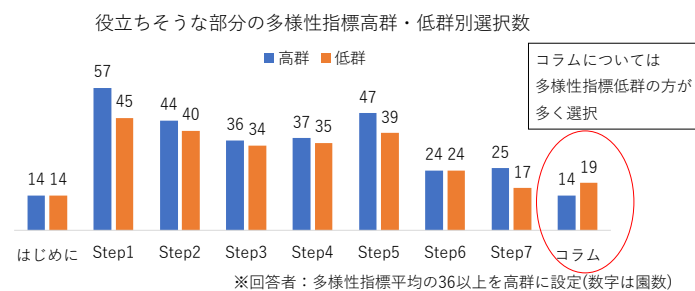
5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 具体的に、園の実践や保育者養成に役立ちそうな部分があれば○をしてください



5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 具体的に、園の実践や保育者養成に役立ちそうな部分があれば○をしてください

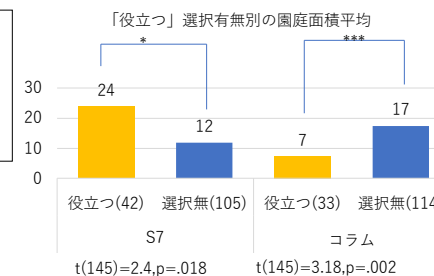


5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 具体的に、園の実践や保育者養成に役立ちそうな部分があれば○をしてください

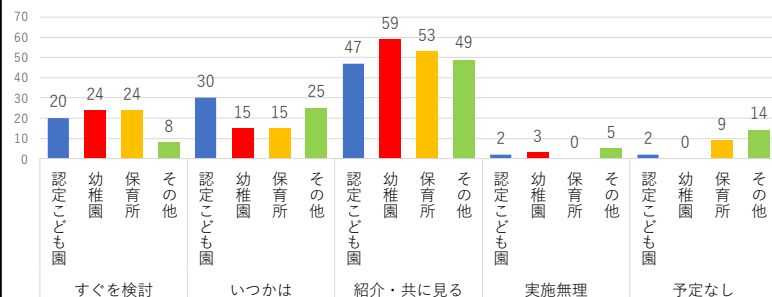
STEPごとに「役立つ」を選択した群としない群に分けてt検定を行なった結果、STEP7、コラムのみ有意差

コラムを「役立つ」とした園：園庭面積平均が小さい



5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

Q 本リーフレットを用いて、園や自治体等で研修等を実施してみたいと思いますか？



5.リーフレットの反響：アンケート結果の紹介

その他の感想・要望など

今後のリーフレットや本について

- ・可能な状況(園庭環境、園の状況など)の中でできることについて (6)
- ・保護者連携の過程や事例について (4)
- ・理念や目標をどう環境や活動につなげるか/ 面積の小さい園の工夫/ 改善の過程の事例をさらに提示 (2)
- ・その他：園庭のない施設、各スペースの使い方、子どもの様子への柔軟性、文字量、理想論とならない 等

求められている調査

- ・地域活用について(6) / 資金(予算や助成)について (5)
- ・保護者連携の過程や事例について (4)
- ・情報共有や、時間をどう作るかについて/ 安全管理、人員配置について (3)
- ・園庭の機能と、子どもの育ちとの関連調査、先行研究整理 (2)
- ・その他：意識変化の過程、地域開放の調査(マナー等)、火のある環境、リーフレット活用園への調査等

その他 リーダー、行政へのアプローチ、実践例紹介の機会、Q&A集

6. より豊かな園庭を目指して：今後の課題と展望

参考1 園庭のない施設が園外で活用するのは…

築山や斜面 芝生
生き物が生息する水場
子どもが水遊びをする場 水路や池

参考2 園庭あり施設でも、地域等を活用

→園庭とは異なる価値付けがされている可能性も

参考3 今後のリーフレット等への要望

可能な状況の中でできることや、
地域活用等についての要望が複数

拡張された園庭

園庭以外の
園内屋外環境
(屋上、テラス等)

園外の屋外環境：
地域の様々な場所
(園庭のある施設でも活用)

屋外環境に関する調査
実施、回収中
(全国の保育所・幼稚園/
都市の規模に配慮)

6. より豊かな園庭を目指して：今後の課題と展望

「発達に応じた環境」という課題

- ・発達の違いや安全面に配慮し、使用時間や場所を分ける園
- ・異年齢の経験を重視し、分けない園
- ・近隣環境(公園の遊具等)が、子どもの発達に適しているとは限らない

低年齢児(乳児、未満児)の経験を保障する園庭とは？

低年齢児のための
環境とは？

- (1) 管理職や、乳児担任等の経験が長い保育者へのインタビュー
→乳児、未満児の発達に適した環境とともに、
異年齢での関わり(憧れや配慮の経験)の重要性も語られる
- (2) 質問紙を実施予定
…上記インタビューをもとに、環境の実態も合わせて傾向を明らかにする

6. より豊かな園庭を目指して：今後の課題と展望

最近の成果報告

学会発表

- 宮本・秋田・辻谷・宮田・石田(2018) 子どもの活動から捉える遊び場の機能の探究：保育に関与する者の役職・活動時間に着目して. 子ども環境学会2018大会. 埼玉・2018年5月. **優秀ポスター賞**
- 石田・秋田・宮本・宮田・辻谷(2018) 保育・幼児教育における地域環境活用の実態. 子ども環境学会2018大会. 埼玉・2018年5月
- 杉本・秋田・宮本・宮田・辻谷・石田(2018) 保育者は子どもの遊び場をどのように捉えているか？ 日本保育学会第71回大会. 宮城・2018年5月

学会誌論文

- Tsujitani, M., Akita, K., Ishida, K., Miyata, M. & Miyamoto, Y. (2018) Variations in Staff Viewpoints regarding Children's Outdoor Play in Japanese ECEC Playgrounds. *Asia-Pacific Journal of Research in Early Childhood Education* 12(2), 57-78.